

プラム情報

令和3年6月
JA 中野市園芸課

着果量が多い園地散見。特に大石早生は早急に着果量の見直しを。

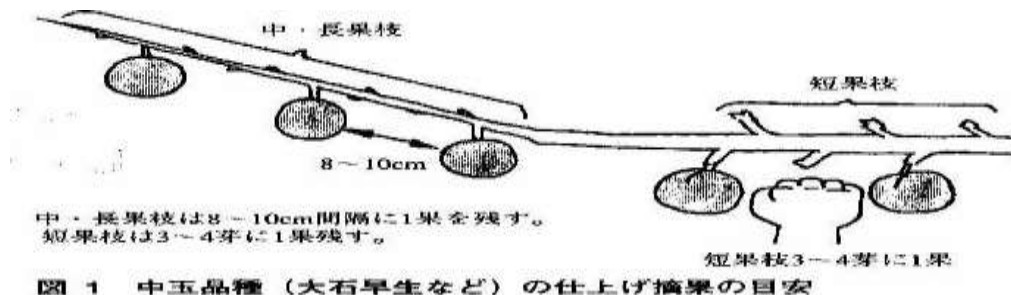
4月に凍霜害に遭い、結実への影響が心配されましたが、太陽などの一部品種、一部園地を除き着果良好な状況が見られております。特に大石早生は北部地域中心に着果過多な園地が散見されます。収穫期まであと約2～3週間ありますので、早急に着果量の見直しを行なって下さい。

◎プラム着果基準（中～長果枝） ＊短果枝群は中玉（3～4芽に1果）・大玉（5～6芽に1果）

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
中玉果	60～70g	約8～10cmに1果	大石早生、菅野中生
大玉果	80～120g 150g～	10～15cmに1果 15cm～	紅りょうぜん、ソルダム、サマーエンジェル、太陽 貴陽、秋姫 受粉樹も摘果を実施する。

◎プルーン着果基準

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
小玉果	30～40g	5 cmに2果	サントス、サンプルーン、シュガー
中玉果	50～60g	10 cmに3果	くらしま早生、くらしまプルーン、スタンレイ
大玉果	70～100g	10 cmに1～2果	サマーキュート、オータムキュート等



黒斑病（かいよう病）の発生について

紅りょうぜん、秋姫等の品種で黒斑病（かいよう病）の発生が散見されております。

5月中旬の降雨で感染拡大したものと思われます。

今後は、「スターナ水和剤」や「バリダシン液剤」を定期散布に加用（収穫前規制に注意。詳細は特報参照）し、防除対策を講じて下さい。

また、大石早生等の品種に黄変落葉が確認されております。発生原因は現在調査中ですが、果樹試験場の調査によると病害ではないようです。落葉程度がひどくなりそうな場合は技術担当にご相談下さい。



黒斑病



黄変落葉

ふくろみ病発生園は次年度に向けた対策を

5月に、菅野中生（静香）、授粉樹エレファントハート等に「ふくろみ病」が散見されました。（右写真）

特に毎年発生する園地は、次年度に向けて対応ポイントの確認をお願いします。



被害果実

- ①被害果実から健全果への伝染はしない。
- ②被害果実から枝・芽に胞子が付着し、次年度に越冬する。
⇒ 見つけ次第被害果実を除去し、園外で処分する。
- ③防除適期は発芽の2～3週間前（花芽がふくらみ始めた頃）まで。
⇒ 3月初旬の散布ができない園は、11月に防除を実施する。
「石灰硫黄合剤 10 倍」または、「ホーマイコート 100 倍」



この生育ステージまでに防除



スモモヒメシンクイ少発生。しかし油断禁物。

現在、スモモヒメシンクイ越冬世代の発生ピークは過ぎたものと思われますが、例年と比べて少発生の状況です。

今後、気温の上昇とともに発生が増えてくると予想されますので、引き続き10日間隔以内の防除徹底をお願いします。

プラム スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査結果

調査機関：北信農業農村支援センター

（6/9時点）越冬世代の発生はやや落ち着きましたが引き続き注意が必要です。
プラム栽培者の皆様は、薬剤散布間隔10日以内の防除を徹底して下さい。

2021年	一本木		草間		上今井		倭	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
4月14日	設置		設置		設置		設置	
4月21日	1		0		0		0	
4月28日	2	設置	0	設置	2	設置	0	設置
5月5日	3	17	5	22	1	6	4	36
5月12日	9	9	10	17	1	7	24	15
5月19日	31	20	23	31	2	7	19	40
5月26日	17	36	10	10	1	0	20	86
6月2日	28	21	6	8	2	1	8	11
6月9日	9	4	5	5	0	20	4	39

6/9 時点 スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査結果

問合せ先：園芸課 23-3933 担当・金井